

令和7年6月

魚津市定例記者会見



日時：令和7年5月30日(金) 午後1時30分～午後2時16分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、読売新聞、NHK、
NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、財政課長、情報広報課長

1 市長からの発表事項

(1) 令和7年6月魚津市議会定例会に提案する補正予算の主な内容について（財政課）

令和7年6月魚津市議会定例会に提出する補正予算額は、1億8,256万8千円となりました。※次の主な事業について資料に基づき説明。

- ア 【拡充】避難所生活環境改善事業
- イ 【新規】看護小規模多機能型居宅介護事業所整備補助
- ウ 【新規】新型コロナワクチン接種事業
- エ 【拡充】まちづくり会社支援事業
- オ 【拡充】交通DX（オンデマンド交通）実用化事業
- カ 【拡充】^{しんぺい}台湾新北市政府教育局とのMOU（基本合意書）締結
- キ 【拡充】共生社会普及活動事業「ボッチャ」

(2) 魚津観光まちづくり株式会社創立記念セミナー等の開催について（商工観光課）

魚津観光まちづくり会社創立記念セミナーのご案内になります。

- (1) 開催日時 令和7年6月18日（水）創立総会・取締役会終了後16時～17時
- (2) 演題（仮題）魚津観光まちづくり株式会社が描く魚津市の将来像
 - ・講演者 魚津市産業建設部商工観光課
 - （予定）魚津観光まちづくり株式会社設立準備室
副主幹・企画統括監 宮野 司憲
- (3) 会場 魚津商工会議所ビル5階 研修室
- (4) 主催者 魚津観光まちづくり株式会社設立発起人会

(3) 第6弾UO！トク！商品券の販売について（商工観光課）

第6弾になりますが、UO！トク！商品券の販売を行います。

食料品等の価格高等による市民生活の負担軽減を踏まえてプレミアム商品券を発行します。

発行部数は15,500冊で、プレミアム率は20%です。令和7年5月21日時点の加盟店は、355店舗です。

※販売方法、応募受付機関、商品券引換機関、商品券の使用有効期限、購入できる冊数の上限等について、資料に基づき説明。

(4) 「ミラージュランド アイデアコンテスト」の開催について（都市計画課）

応募は、4月21日（月）から始まっており、期限の令和7年6月9日（月）まで残すところ10日ではありますが、未就学児から大人までを対象にして、自由な発想によるアイデアを募集しております。

5月27日時点で、16名から23作品の応募があり、更なる応募をいただければと思います。

(5) UO!SPO！～Pana Festa 2025～「大阪ブルテオン バレーボールクリニック」の開催について（生涯学習・スポーツ課）

大阪ブルテオン バレーボールクリニックの開催のお知らせとなります。

大阪ブルテオンは、昨年度までのチーム名は、パナソニックパンサーズです。現在バレーの本拠地のある各都市名又は地区名をつけて、チーム名を変えていくという取組になっており、大阪ブルテオンというチーム名になっております。

バレークリニックは、今年度で5回目の開催になります。令和2年7月に締結いたしましたパナソニックスポーツ株式会社との連携協定に基づく事業です。

バレー以外にも、7月にはラグビーのクリニック、秋には野球クリニックも行われる予定になっております。※以下資料に基づき説明。

2 質疑応答の内容

○6月補正予算「看護小規模多機能型居宅介護事業所整備事業」について 《記者からの質問》

事業に取組む経緯をお聞かせください。

《市長回答》

第9期の介護保険事業計画に基づき実施します。この事業計画の策定時にあらかじめ事業者に意向調査というか、マーケティング等実施しております、市内に対象サービスを提供する事業所がない現状ですが、開設意欲のある事業者さんがいらっしゃるということで第9期事業計画に盛り込んでおります。

令和7年3月中旬から5月にかけて公募したところ、市内に事業所のある法人1事業者が応募されております。現在展開している施設を活用しながら、例えばデイサービスやショートステイを多機能型サービスに組み替えていくと伺っております。

これまで、小規模多機能型居宅介護はありましたが、看護小規模多機能型居宅介護は魚津市内で初めてとなります。

○6月補正予算「新型コロナワクチン接種事業」について

《記者からの質問》

県内他の自治体でも実施ないし、予定されているのでしょうか。

《市長回答》

実施しています。まったく同じとは限りませんが、概ね補助率3分の1で他市でも実施しています。

○6月補正予算「交通DX（オンデマンド交通）実用化事業」について

《記者からの質問》

オンデマンド交通の4ルートについて確認したい。昨年、実証実験を行ったA.I.オンデマンドシステムを今回の4ルートでも活用して、ルートや時間が完全に決まっているのではなくニーズに応じて運行していくということでしょうか。

《市長回答》

中島、松倉、坪野、上野方の4ルートです。

利用されたい方が自宅から目的地近くの停留所まで、利用を希望する時間をコールセンターに電話で予約します。

昨年は、ワンボックスの自動車を活用したのですが、今回は小型のバス、通常走行している市民バスを特定の時間帯についてオンデマンドのバスとして使っていこうというものです。

また、昨年は、周知や利用してもらうきっかけ作りに労力がかかりましたので、今回はエリアを広げて実施しますので、使ってもらうための周知が重要と考えております。

停留所については、市民の皆さんがあく利用される場所（医者、薬局、ショッピングセンター等）への配置を工夫し、進めています。

全期間ではありませんが日中の時間帯にオンデマンド利用の期間を設けて実証実験を行います。

なお、詳細は、担当課（都市計画課・企画政策課未来戦略室）に確認願います。

○6月補正予算「台湾新北市政府教育局とのMOU（基本合意書）締結」について 《記者からの質問》

台湾へはどなたが行きますか。当初苗栗県と締結と聞いておりましたが、それを目指しての位置づけについて伺いたい。前段階になるのか、ゴールに近いものなのか。

《市長回答》

台湾へは教育関係のMOUということで教育長が参る予定にしております。

位置づけとしては、ゴールではありません。これまでの小中学校でのオンライン学習での取組、交流をベースにして、まず、教育関係でMOUを締結し、次のステップへ進めていきます。どの分野で取り組むのか、おそらく順次広げていくことになろうかと思います。

苗栗県とも相談していますが、まだ教育のような、具体的な取組が出ていないので、提携まで至っていないというのが現状です。

○魚津まちづくり株式会社創立記念セミナー等の開催について

《記者からの質問》

創立総会が非公開の理由をお聞きします。全面公開じゃなくても社長が話されている場面を取材させていただきたい。

《市長回答》

確認します。

○第6弾UO！トク！商品券の販売について

《記者からの質問》

商品券について、プレミアム率分の補助は市の予算から支出でしたでしょうか。令和7年度予算6月補正でしょうか。

《市長回答》

市の予算です。令和6年度予算3月補正予算を繰り越して、今回実施します。

○地方鉄道について

《記者からの質問》

富山地方鉄道（株）の決算発表があったが、その席で、同社社長から「地元の応援がなければ、いわゆる赤字区間の廃止の検討もせざるを得ない」という主旨の発言がありました。沿線自治体の首長として、路線存続に関して、どのように思われますか。あいの風とやま鉄道との並行区間についてもお聞かせください。

《市長回答》

できれば、鉄道は大事な地域の足なので残って欲しいという思いがあります。ただ、赤字区間への応援がどの程度のものになるのか、また、それを今後ずっと続けていくことなのか、ということを、しっかり踏まえないといけないと思っていま

す。そのために、今、実務担当者レベルでも、調査を進めようと取組をしているところになります。分科会がまたあると思うので、そういう折に、今ほど申し上げたような観点から、持続させていくためには、どこまで、どういうふうなことが必要なのか、ということを議論したいと思います。

あいの風富山鉄道との並行区間については、存続してほしいのか、最悪なくなつても仕方ないのかということは、難しいところです。

目的地と思っても、富山地方鉄道を使うか、あいの風とやま鉄道を使うかの選択になるわけなんですけれども、途中の駅があいの風とやま鉄道の場合はないわけです。そうすると、それで本当にいいのかということが、1つの議論のポイントになります。

それから、全線残す場合に、一体どういうような負担又は支援が必要になって、それをずっと継続をしていかなければならないかということになりますと、それが本当に可能かどうかということを見極めないとけないと思います。

そういう意味では、非常に悩ましいところではあります。あまりにも巨額の支援を必要とされるということになると、ケースとしては、この並行区間の扱いを考えていかざるを得ないこともあると思います。